

災害時のための連絡MEMO

ご家族などで話し合って記入ください。

緊急時の集合場所



緊急時の連絡先

相手方	電話番号
	TEL
	TEL
	TEL

大きな地震が発生すると、電話回線が混み合いつながりにくくなります。災害時の際は各電話会社が設置する「災害用伝言ダイヤルサービス」や「災害用伝言板サービス」を利用できます。

災害用伝言ダイヤルサービス 171 忘れてイナイと覚えましょう！

伝言の録音

171▶1▶被災者-ご自宅-電話番号▶

伝言を入れる
30秒以内

ガイダンスが流れます。

被災者はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする。

伝言の再生

171▶2▶被災者-ご自宅-電話番号▶

伝言を聞く

ガイダンスが流れます。

被災者はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする。

緊急連絡先

津野町役場 本庁舎	0889-55-2311	高幡消防組合 津野山分署	0889-40-1099
西庁舎	0889-62-2311	津野山分署葉山出張所	0889-55-2330
須崎警察署 葉山駐在所	0889-55-2110		
東津野駐在所	0889-62-2178		

防災に関する問い合わせ先

総務課	〒785-0201 高知県高岡郡津野町永野471番地1 TEL:0889-55-2311 FAX:0889-55-2022
ホームページ	https://town.kochi-tsuno.lg.jp/kurashi/bousai



津野町防災情報HP
QRコード

土砂災害防止法に関する問い合わせ先

・区域に関すること	
高知県 土木部 防災砂防課	〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1-2-20 TEL:088-823-9845
高知県 須崎土木事務所 河川砂防建設課	〒785-8586 高知県須崎市東古市町6-26 須崎第二総合庁舎5階 TEL:0889-42-1701
・構造規制に関すること	
高知県 土木部 建築指導課	〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1-2-20 TEL:088-823-9864

我が家の一冊 保存版

～身近にある災害について知ること、備えること～



防災マップ



土砂災害



地震



避難場所



防災マップ



この冊子は、お住まいの地域にどのような災害が発生する可能性があるかを確認し、実際に災害が起こったときにどのような避難行動をとればよいかをまとめたものです。

まずは「まさかの出来事」のときの行動を、この冊子を通して具体的にイメージし、家族や隣近所、地域でいざという時の行動を話し合っておきましょう。

目次

- 警戒レベルと避難行動 p1～p3
- 土砂災害について知る p4
- 南海トラフ地震について知る p5～p6
- 指定緊急避難場所・指定避難所 p7
- ハザードマップ p8～p30

津野町

令和3年2月作成

！警戒レベルと避難行動【自分の命は自らが守る】

町より避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)や避難勧告(警戒レベル4)等が発令された際には、危険な場所から速やかに避難してください。また、気象庁より警戒レベル3、警戒レベル4に相当する防災気象情報が発表された際には、**避難勧告等が発令されていなくても自ら避難の判断をしてください。**

警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	町からの発令	気象庁等の情報	相当する警戒レベル
5	災害がすでに発生しており命を守るための最善の行動をとる	災害発生情報 ※可能な範囲で発令 ・大雨特別警報発表時は、避難勧告等の対象範囲を再度確認	大雨特別警報	5相当
4	危険な場所から速やかに避難 ・危険な区域の外の少しでも安全な場所に速やかに避難 ・危険度分布の「極めて危険」(濃い紫)出現時には、道路冠水や道路崩壊により、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく	避難指示(緊急) ※緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令 避難勧告	土砂災害警戒情報 高潮警報 高潮特別警報	4相当
3	土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難開始 危険な場所から高齢者等は速やかに避難	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警報 洪水警報 高潮警報に切り替える可能性が高い注意報	3相当
2	防災マップで避難行動を確認		大雨警報に切り替える可能性が高い注意報 大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報	2相当
1	災害への心構えを高める		早期注意情報(警報級の可能性)	

*1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。
*2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

町が発令される避難情報

避難とは「難」を「避」けること、つまり安全を確保することです。
安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。

避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)

避難準備・高齢者等避難開始が発令された際には、高齢者等の避難に時間のかかる方や避難行動要支援者は危険な場所から避難を開始する。
その他の人は避難の準備を整えとともに、今後の防災気象情報、水位情報等に注意を払い、自発的に危険な場所から避難を開始することが望ましい。

避難勧告、避難指示(緊急)(警戒レベル4)

避難勧告や避難指示が発令された際には、山ぎわや河川のそばなど危険な場所からできるだけ離れ、開設された指定避難所などの安全な場所へ速やかに避難する必要がある。

災害発生情報(警戒レベル5)

既に災害が発生している状況であり、高台へ逃げたり、垂直(階上)避難をするなど、命を守る行動をとる。
なお、災害発生情報は、災害が発生していることを、町が把握した場合に可能な範囲で発令するものであり、必ず発令されるものではないことに留意する。

警戒レベル1・警戒レベル2 防災気象情報に注意

台風や集中豪雨の場合は、地震などとは違い毎年同じ時期に同じような現象を繰り返します。TV、データ放送、ラジオ、インターネットなどで最新の気象情報をこまめにチェックし、避難の必要がある場合は速やかに避難しましょう。



高知県防災マップ



こうち防災情報



国土交通省「川の防災情報マルチモニタ」

警戒レベル3

▶ 高齢者等の避難に協力

お年寄りや小さなお子さん、身体の不自由な方が、早めに避難できるよう、近所のみなさんは避難に協力しましょう。
特に、一人暮らしのお年寄りや病気の人たちには、ふだんから気配りが必要です。



▶ その他の人は防災気象情報等に注意しながら、避難の準備を整える！

警戒レベル4

「避難勧告又は避難指示」が発令された地域で、**危険な場所にいる人は全員避難**

避難所に移動することによりかえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所に避難してください。また、外出する危険な場合には屋内で安全を確保してください。

履物に注意しましょう！

運動靴が最適です。長靴は浸水が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。

▶ 複数で避難・隣近所に声をかけましょう！

一人で避難すると、事故にあったとき非常に危険です。複数で避難し、隣近所に声をかけていきましょう。



車での避難は控えましょう！

自動車での避難は緊急車両の妨げとなりますので、特別の場合を除きやめましょう。

▶ 危険な自宅からの移動が難しいときは、垂直避難

自宅外への避難に余裕がない場合や、すでに自宅の外が危険な状況の場合、傾斜と反対側2階以上の部屋に「退避」することも避難です。



危険な場所は避けて避難しましょう！

ガード下や、がけ地、堤防などを通るのは危険です。近道であっても避けましょう。橋を渡ることは避けて避難しましょう。

警戒レベル5

命を守る最善の行動をとる ※災害が発生した場合に必ず発令されるものではありません

既に災害が発生している状況であり、命を守る最善の行動をとりましょう。

平時（日ごろの備え）

▶ 避難経路の確認

防災マップでお住まいの地域などの災害リスクを確認しましょう。

避難先は町が開設する避難所だけでなく安全な親戚や知人宅への避難も日ごろから相談しておきましょう。



▶ 家の周りを点検・整備

雨水の排水溝などは水がたまらないように清掃をこまめにしましょう。



▶ 防災訓練に参加しましょう

もし今、災害が発生したら…。いざという時、より冷静に行動できるように、防災訓練などに積極的に参加しましょう。



▶ 非常持ち出し品を準備しておきましょう

避難所の備品には限りがありますので、自らが十分な準備をすると安心です。両手の空くリュックサックに非常持ち出し品を準備しておきましょう。重さの目安は、男性 15kg、女性 10kg です。

非常持ち出し品リスト

食料品など	衣類など	貴重品	日用品・安全対策・その他
☐ 飲料水 ☐ 非常食	☐ 下着・上着 ☐ タオル ☐ 歯みがきセット	☐ 貯金通帳 ☐ 印鑑 ☐ 現金	☐ 懐中電灯 ☐ 携帯ラジオ ☐ 予備電池 ☐ 携帯電話 ☐ ティッシュ ☐ 充電器 ☐ 常備薬 ☐ 食品用ラップ

▶ 家庭での備蓄品

各家庭で最低 3 日間、できれば 1 週間過ごせるよう、飲料水（1 人 1 日 3 リットル）、食料等を備蓄しておきましょう。保存期間の長い普段の食料を多めに買って置き、期限の近いものから消費、使った分を買い足す「ローリング・ストック方式」も効果的です。また、カセットコンロや下着、トイレトーパー、携帯トイレ等も備蓄してあるといざというときに役に立ちます。



家庭備蓄の例（1 週間分 / 大人 2 人の場合）

必需品	主食 エネルギー 炭水化物	主菜 たんぱく質	副菜・その他
水 2L×6本×4箱 ※1人1日およそ3L程度 (飲料水+調理用水)	米 2kg×2袋 ※1袋消費したら1袋買い足す(1人1食75g程度)	レトルト食品 ・牛丼の素、カレー等18個 ・パスタソース6個	日持ちする野菜類 ・たまねぎ、じゃがいも等
カセットコンロ・カセットボンベ×12本 ※1人1週間およそ6本程度	乾麺(うどん・そば・そうめん・パスタ) ・そうめん2袋(300g/袋) ・パスタ2袋(600g/袋)	缶詰(肉・魚) ・お好みのもの18個	調味料 ・お好みのもの
	カップ麺類×6袋		梅干、のり、乾燥わかめ等
	パックご飯×6袋		野菜ジュース、果物缶詰等
	その他(適宜) ・ロングライフ牛乳 ・シリアルなど	缶詰(肉・魚) ・お好みのもの18個	即席スープ等

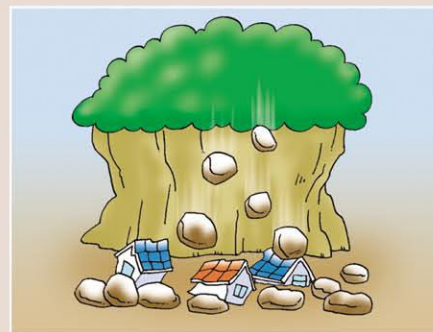
土砂災害について知る

土砂災害の種類

土砂災害には、「がけ崩れ」、「土石流」、「地すべり」の3種類があります。甚大な被害を引き起こす土砂災害に対処するには、それぞれの特性と発生兆候を知ることが重要です。

◆ がけ崩れ

大雨などをきっかけに、地面にしみ込んだ雨水により急な斜面の土砂が崩れ落ちることを「がけ崩れ」といいます。斜面の崩壊は突然起こりスピードも速いため、人家の近くでがけ崩れが起きると、逃げ遅れる人も多く、人的被害の出やすい災害です。



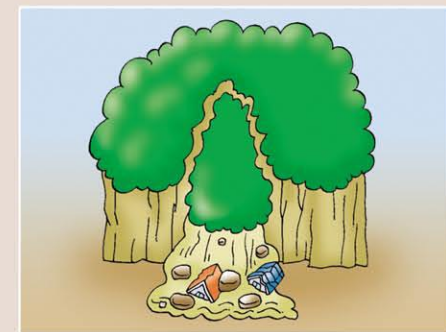
◆ 土石流

大雨などをきっかけに、谷底にたまった土砂や山腹から崩れ出した土砂が水と混じり合っ一体となり、谷を一気に流れ下ることを「土石流」といいます。一瞬のうちに人家や田畑などを壊滅する恐ろしさから、山津波とも呼ばれている災害です。



◆ 地すべり

雨や地下水などをきっかけに、山すそや丘陵地などの斜面などで、地中のすべりやすい地層を境に地面がそっくり動き出すことを「地すべり」といいます。その発生規模は広範囲にわたり、人家や田畑が崩壊してしまうこともあります。



前兆現象



斜面（がけ）から小石がバラバラと落ちてくる



斜面（がけ）から急に水がわき出したり、わき水が濁る

前兆現象



川が濁り、流木が一気に流れる



山鳴りがする

前兆現象



地面にひび割れができる

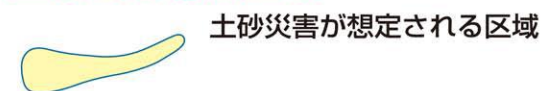


斜面の所々から急に水がわき出す

土砂災害(特別)警戒区域

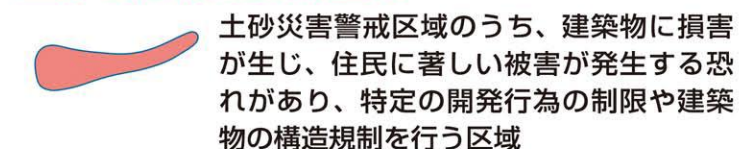
土砂災害（特別）警戒区域の指定は、土砂災害防止法に基づき、土砂災害から人命や財産を守るため、危険性のある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備や危険箇所への新規住宅の立地抑制等のソフト対策を充実させていくことを目的としています。

土砂災害警戒区域



土砂災害が想定される区域

土砂災害特別警戒区域



土砂災害警戒区域のうち、建築物に損害が生じ、住民に著しい被害が発生する恐れがあり、特定の開発行為の制限や建築物の構造規制を行う区域



南海トラフ地震について知る

南海トラフ地震は、駿河湾（静岡県）から日向灘（宮崎県）沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。前回の南海トラフ地震（昭和東南海地震（1944年）及び昭和南海地震（1946年））が発生してから70年以上が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生切迫性が高まっています。

地震発生から避難後までの行動マニュアル

地震は突然発生するので日ごろの備えが大切です。大きな地震が発生したら「慌てずに身の安全を確保」、「安全なところへ移動」、「より安全なところへ避難」

地震発生

1～2分

3分

5分

10分

数時間

3日

最初の大きな揺れは約1分間

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- あわてて外へ飛び出さない。
- 大きな揺れの場合は、揺れがおさまってから火の始末をする。



揺れがおさまったら

- 火元を確認、火が出たら落ちていて初期消火する。
- 家族の安全を確認、倒れた家具の下敷きになっていないかを確認。
- 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく。
- 避難するときは、屋根瓦等の転落やブロック塀・自動販売機等の転倒に注意する。
- 仕事やレジャーで海岸部に滞在している場合、直ちに高台へ避難する。



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかけよう ●災害弱者の安全確保、隣近所で助け合う。 ●行方不明者はいないか。 ●けが人はいないか。
- 出火防止 初期消火 ●初期消火、消火器を使う。バケツリレー、風呂の水はためておく。 ●漏電・ガス漏れに注意。 ●電気のブレーカーを下げる・ガスの元栓を閉める。

協力して消火活動、救出・救護活動

- 大声で知らせる。 ●救出・救護をする。 ●防災機関、自主防災組織の情報を確認する。
- デマにまどわれないようにする。 ●避難時に車は極力使わない。
- 電話は緊急連絡を優先する。



ラジオ等で正しい情報を得る

- 水、食料は蓄えているものでまかなう。3日間の飲料水と食料の準備をしておく。
- 災害・被害情報を収集する。 ●無理はやめよう。 ●助け合いの心が大切。
- 壊れた家に入らない。



地震に備える

まずは襲ってくる強い揺れから身を守ることが大事ですので、どのくらい揺れるのかを確認して、お家の耐震化や家の中の家具等を固定する安全対策を行いましょう。

家具・家電の転倒防止対策

地震の揺れから命を守るため、寝室や通路にある家具等は、倒れないようにきちんと固定するか、安全な場所に移動させましょう。



家の耐震化

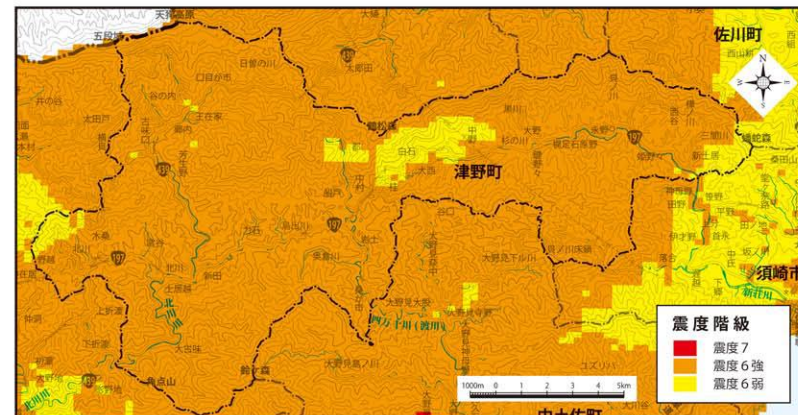
昭和56年5月以前に建築された住宅を対象に、耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事の支援をしています。



南海トラフ地震 震度分布図

このマップは平成24年に高知県が推計した「高知県の南海トラフ地震による震度分布及び津波浸水予測」より作成しました。津野町においては、ほぼ全域が「震度6強」と予測されています。

最大クラスの地震・津波の発生確率は極めて低いものの、こうしたことも起こり得るということも念頭に置いておく必要があります。



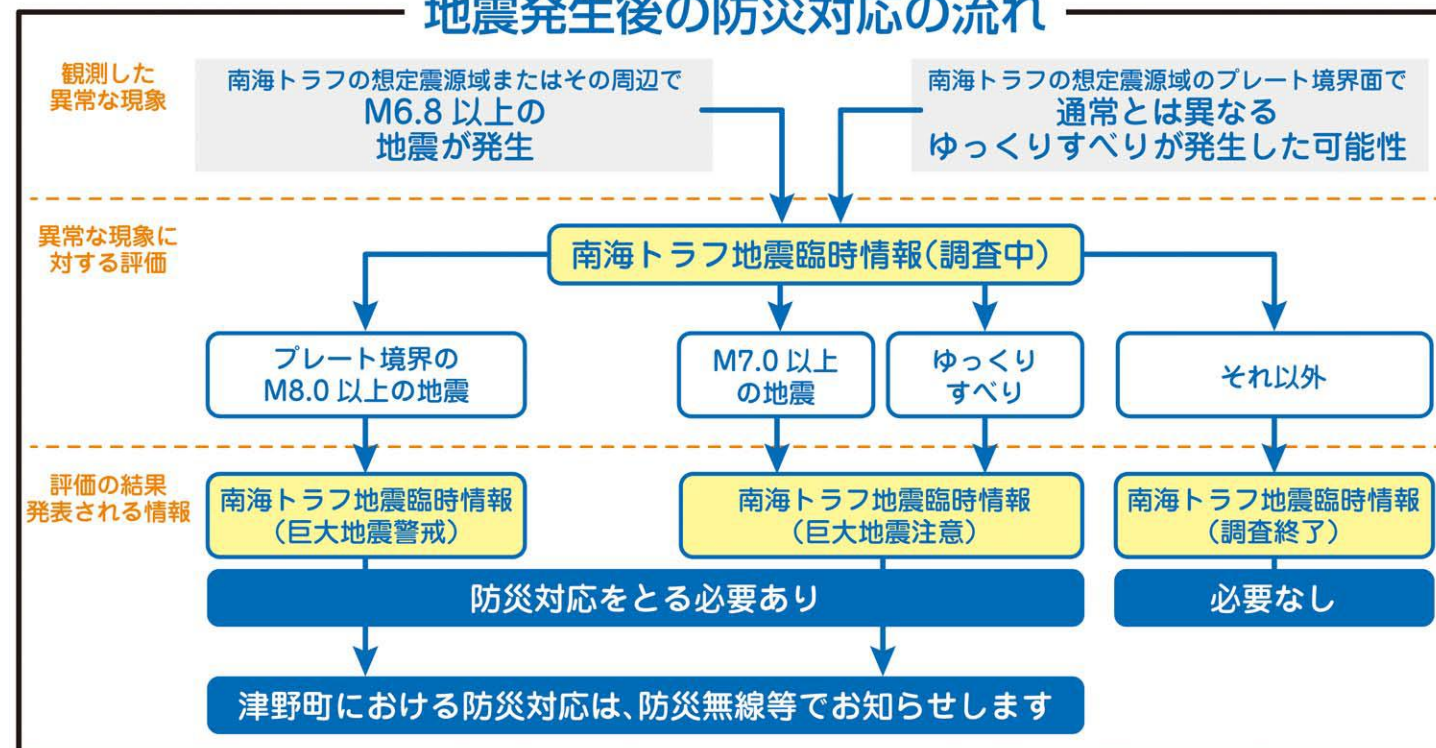
南海トラフ地震臨時情報

南海トラフでは、過去に約32時間後や約2年後に時間差で大規模な地震が発生したことがあり、時間差で発生する大規模地震に備える必要があります。

「南海トラフ地震臨時情報」は、例えば、南海トラフ沿いの東側で地震が発生し、西側でも地震が続発する可能性が高まった場合などに気象庁より発表されます。

南海トラフ地震臨時情報が発表された場合、日ごろからの地震の備えを再確認しましょう。

地震発生後の防災対応の流れ



津波について

津野町は山間部なので津波の心配はありませんが、いつ、どこで地震が発生するか分かりません。南海トラフ地震が起こると高知県沿岸部では、大きな津波が押し寄せることが予測されます。

『より高いところ』へ避難！

直ちに『より遠く』ではなく『より高いところ』へ避難する。間に合わないときは上部で高い建物の上の階（できれば3階以上）へ逃げる。



津波は繰り返し襲ってくる！

津波は2回3回と繰り返し襲ってきます。1回目でも安心しないこと。波が落ち着くまで注意し、警報、注意報が解除されるまで海岸に近づかない。



指定緊急避難場所 指定避難所

気象状況や災害の状況により、開設する施設を防災無線等でお知らせします。
全ての施設が必ず利用できるとは限りません。

指定緊急避難場所とは

「指定緊急避難場所」は、津波、洪水等、災害による危険が切迫した状況において、住民等の生命の安全の確保を目的として住民等が緊急に避難する際の避難先として位置付けるものです。

指定避難所とは

「指定避難所（福祉避難所含む）」は、災害の危険性があり避難した住民等が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを目的とした施設です。

※「指定緊急避難場所」、「指定避難所」は、ともに市町村長が指定します。



土砂災害に対する指定緊急避難場所の場合、安全な構造である堅牢な建物が指定されます。



地震や大規模な火災等の場合、危険が及ばない学校のグラウンドや運動場が指定されます。



公民館等の公共施設

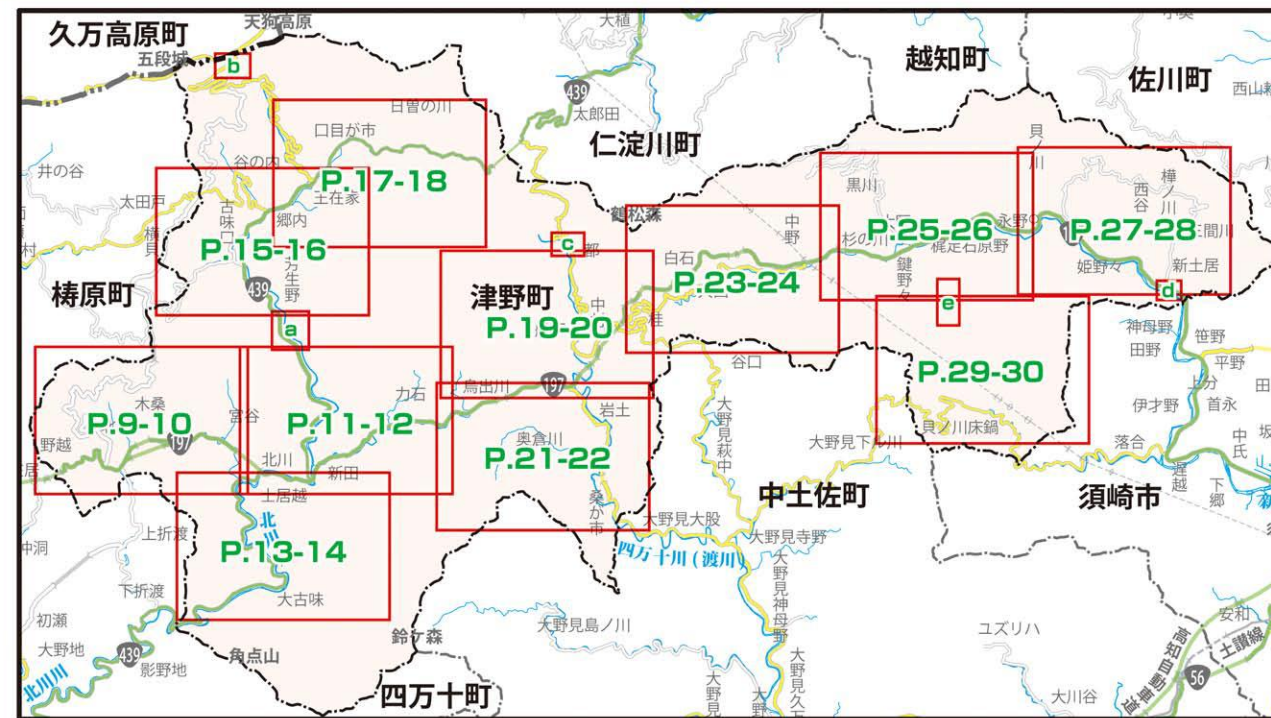


学校・体育館等の施設

🏠: 指定緊急避難場所 🏠: 指定避難所 ❤️: 福祉避難所

No.	種別	施設名	住所	備考
1	🏠 🏠	新土居健康管理施設	新土居400-2	
2	🏠 🏠 ❤️	津野町総合保健福祉センター「里楽」	姫野々431-1	
3	🏠 🏠	津野町立葉山小学校体育館	姫野々503-1	
4	🏠 🏠	津野町葉山運動公園総合センター	永野246	
5	🏠 🏠	農村交流施設「森の巣箱」	貝ノ川床鍋392-2	
6	🏠 🏠	津野町立葉山中学校体育館	白石丙155	
7	🏠 🏠	津野町立精華小学校体育館	大野7-1	
8	🏠 🏠	勤労者体育センター	黒川740-1	
9	🏠 🏠	白石地区集落活動拠点施設	白石甲1426-1	
10	🏠 🏠	船戸体育館	船戸1310	
11	🏠 🏠	津野町立中央小学校体育館	芳生野甲200-1	
12	🏠 🏠	津野町東津野B&G海洋センター	芳生野甲200-5	
13	🏠 🏠	津野町立東津野中学校体育館	力石2813	
14	🏠 🏠	郷地区集落活動拠点施設	芳生野乙810	
15	🏠 🏠	高野地区高齢者交流センター「平安の家」	北川2284-3	
16	🏠 ❤️	津野町福祉交流センター	力石2870	
17	🏠 ❤️	高陵特別養護老人ホーム「葉山荘」	姫野々417	
18	🏠 ❤️	津野山養護老人ホーム「高原荘」	力石5082	
19	🏠	ふれあい住宅前広場	力石4653-1	新田分団1部消防屯所
20	🏠	宮木集会所前広場	北川567-1外	高野分団2部消防屯所

マッピングインデックス



ハザードマップの作成にあたって、GEOSPACE（NTTインフラネット）、国土基本情報（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2JHs 758）を使用した。（All Right Reserved）

ハザードマップの見方

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。

例外

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全を確保することも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所・指定避難所に避難しましょう

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所・指定避難所に避難しましょう

土砂災害(特別)警戒区域

土石流

急傾斜地

地すべり

特別警戒区域

警戒区域

指定避難所等

避難所(一般)兼避難場所

避難場所

避難所(福祉)

災害関連施設

役場庁舎

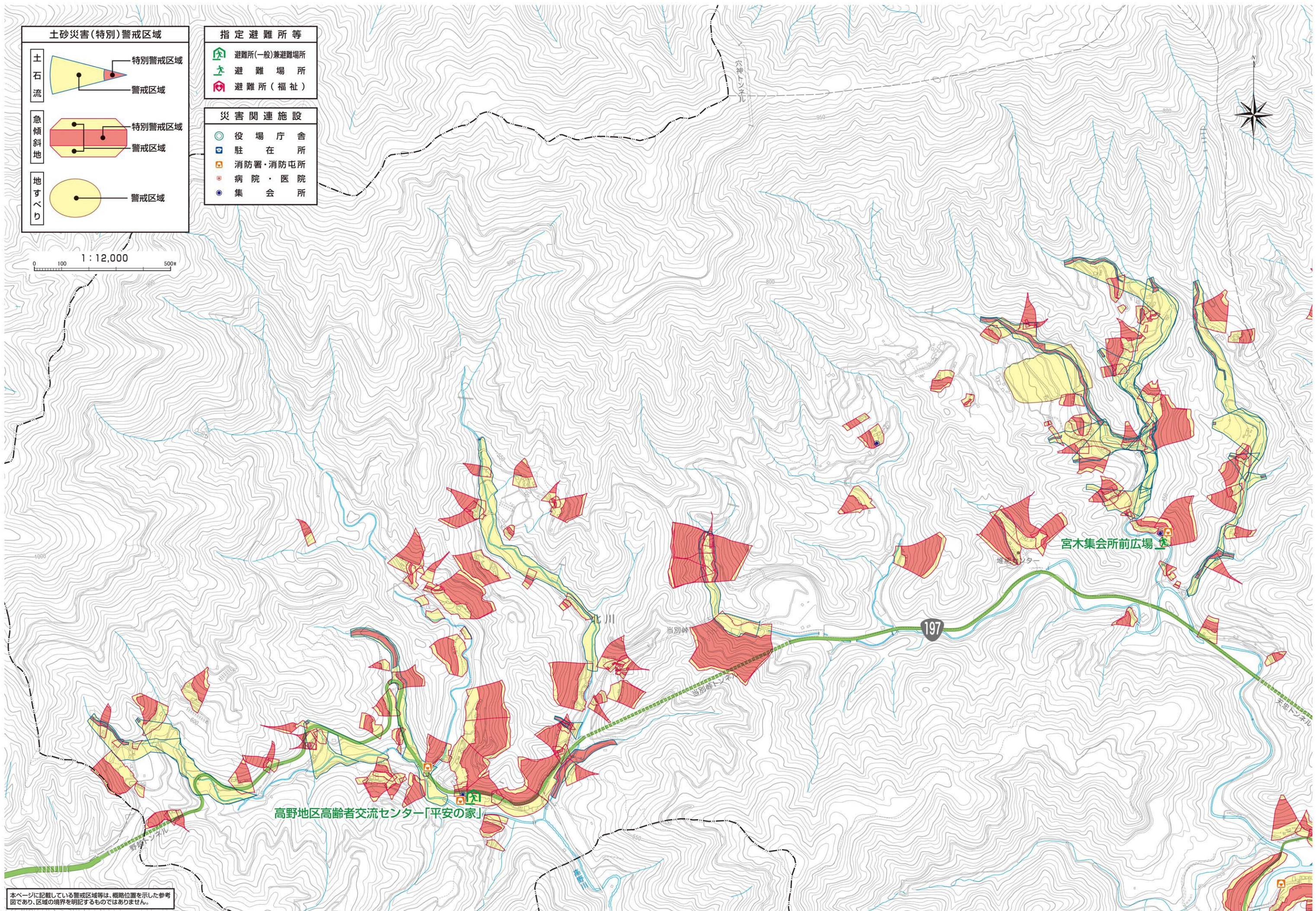
駐在所

消防署・消防屯所

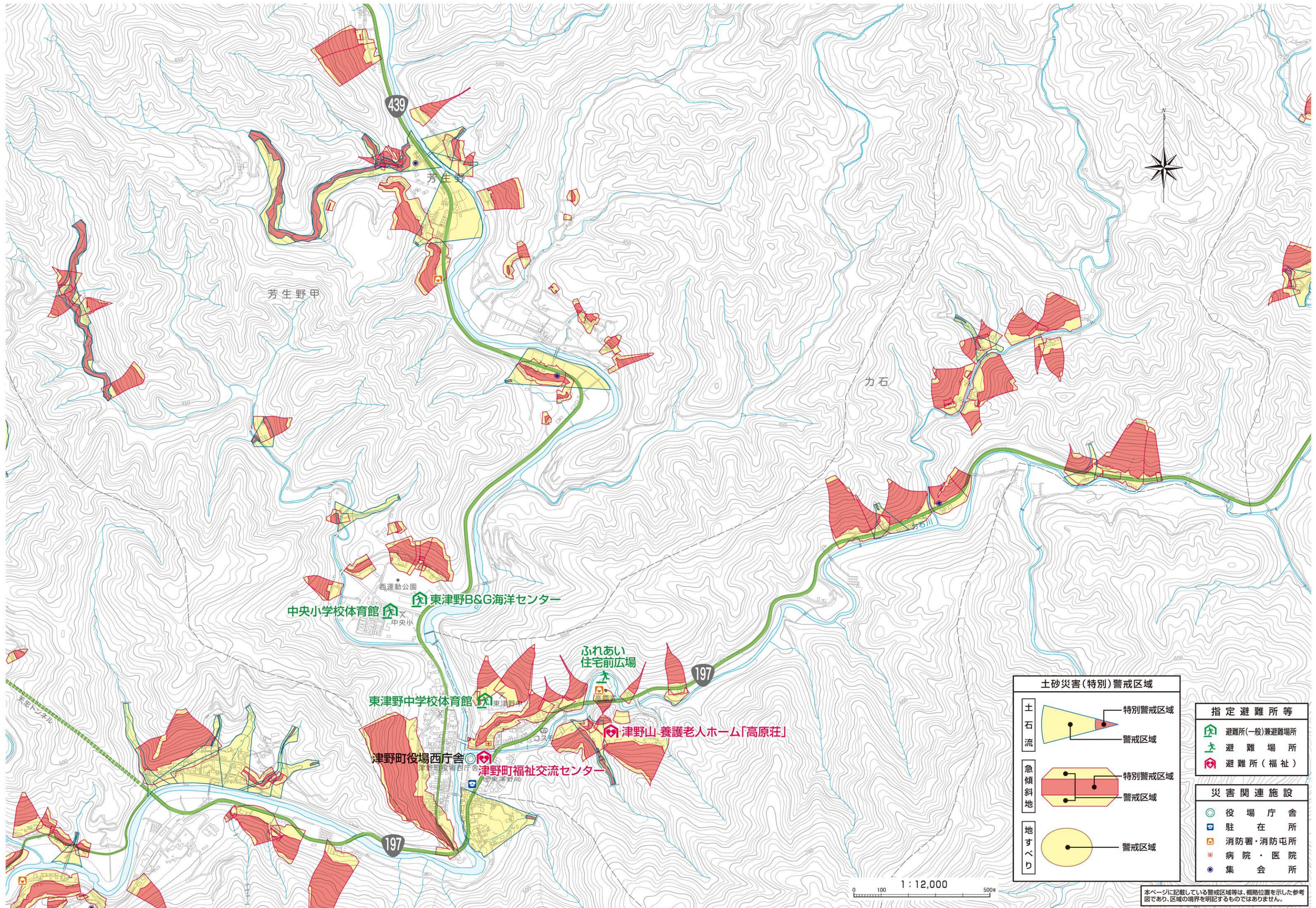
病院・医院

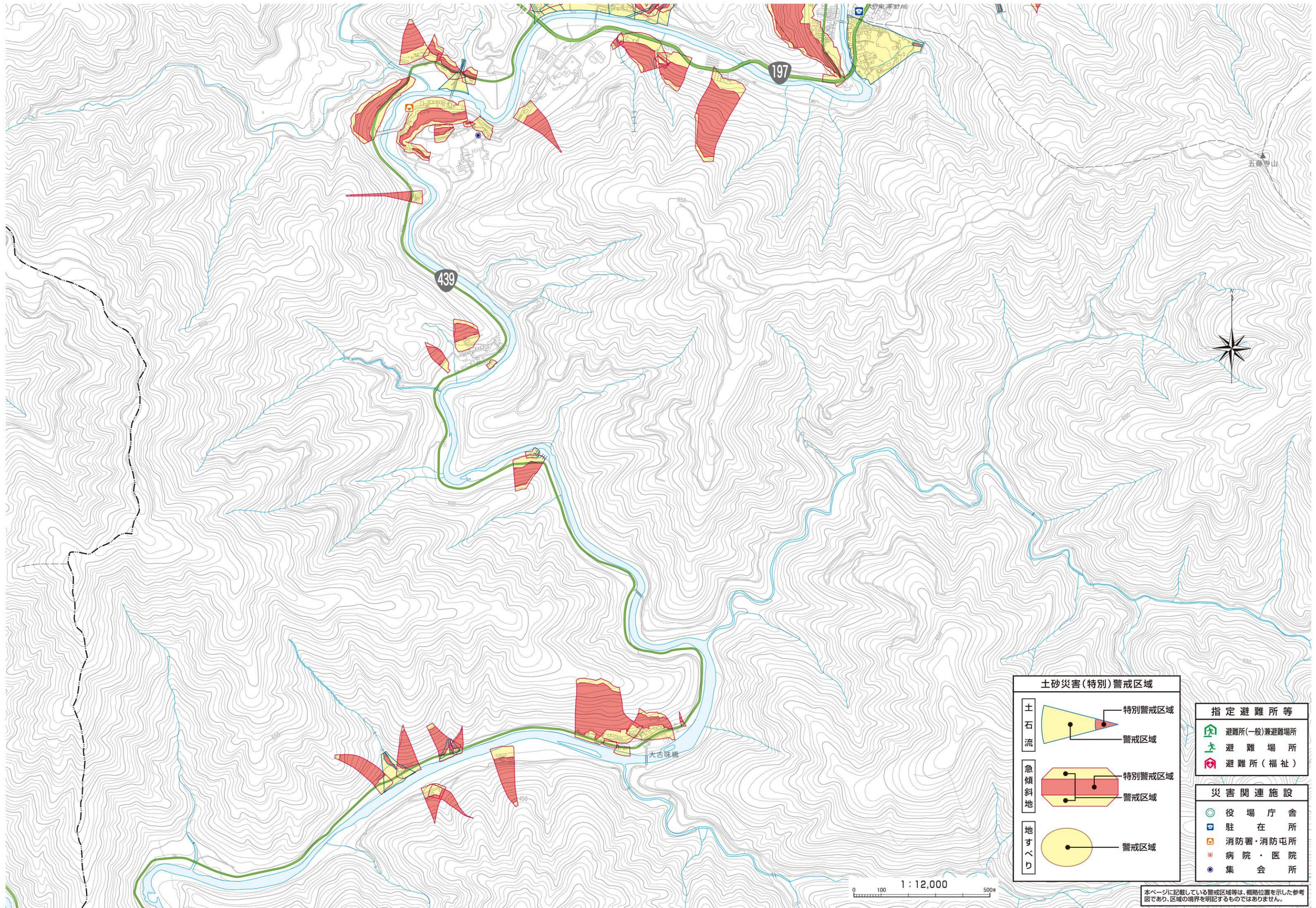
集会所

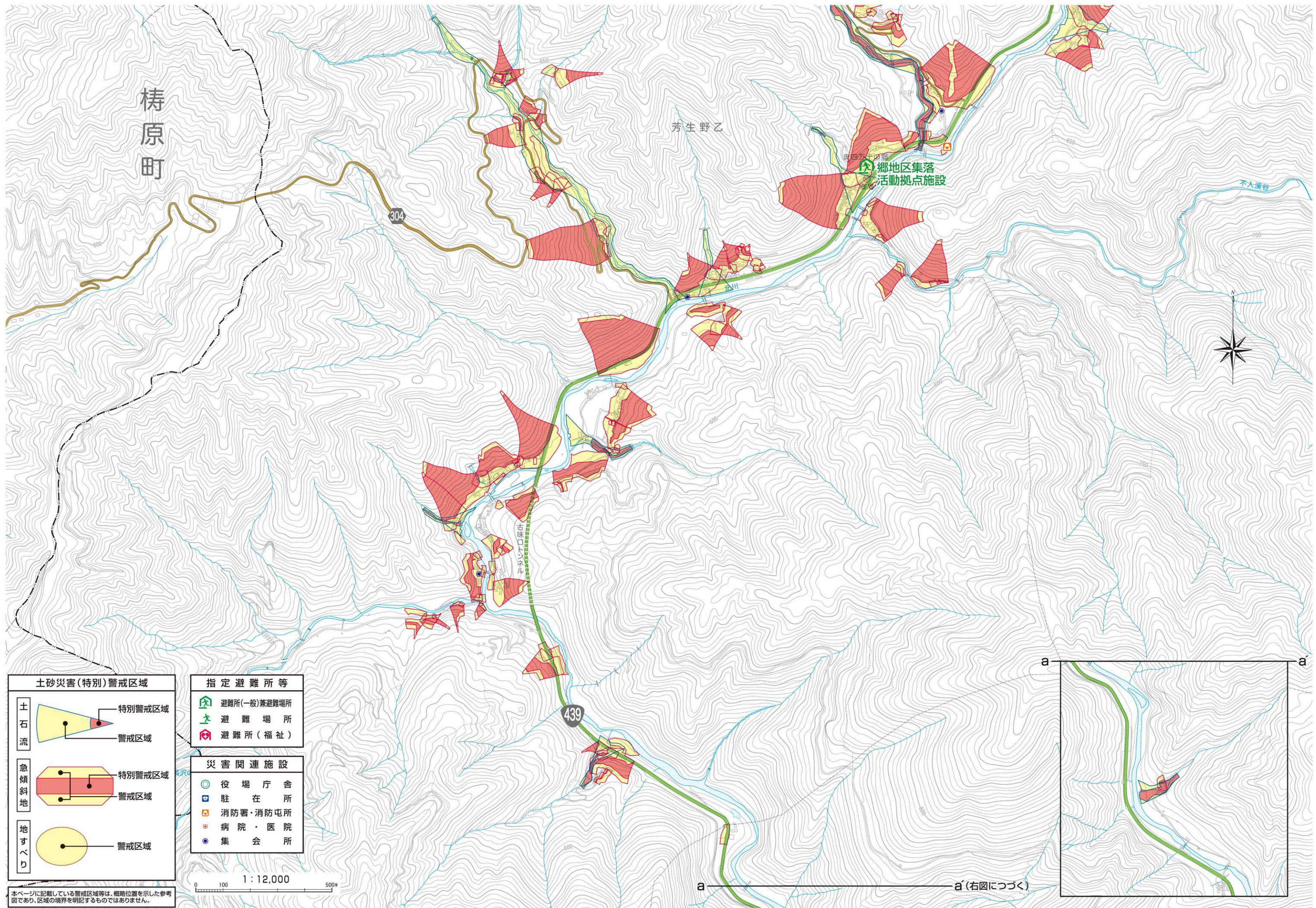
1:12,000

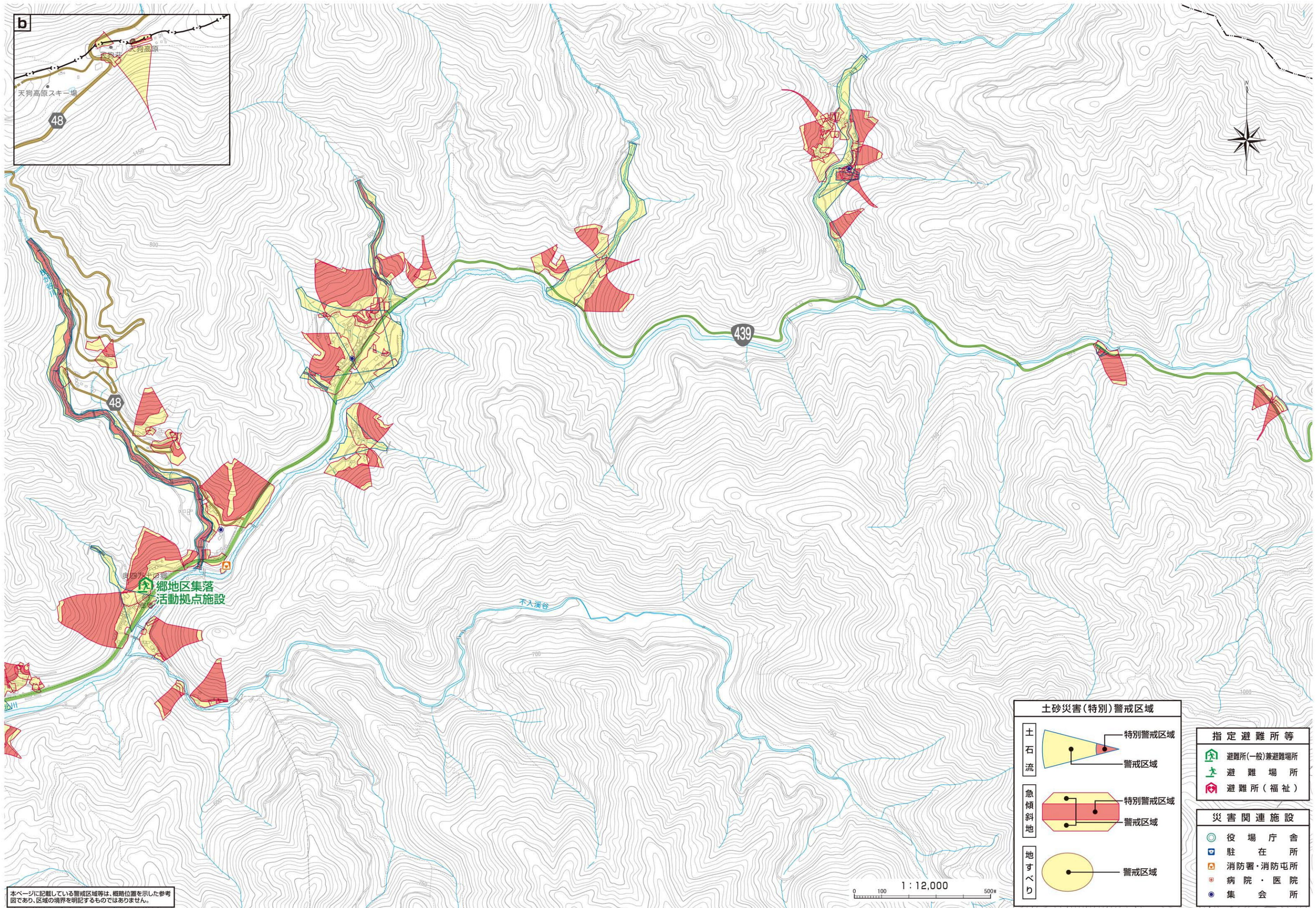


本ページに記載している警戒区域等は、概略位置を示した参考図であり、区域の境界を明記するものではありません。



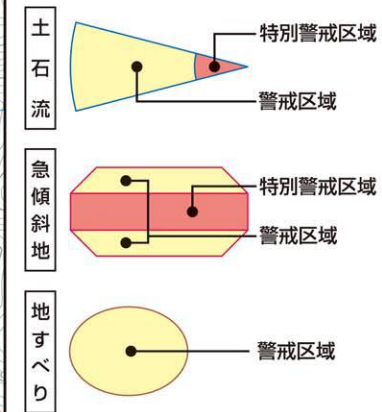






本ページに記載している警戒区域等は、概略位置を示した参考図であり、区域の境界を明記するものではありません。

土砂災害(特別)警戒区域

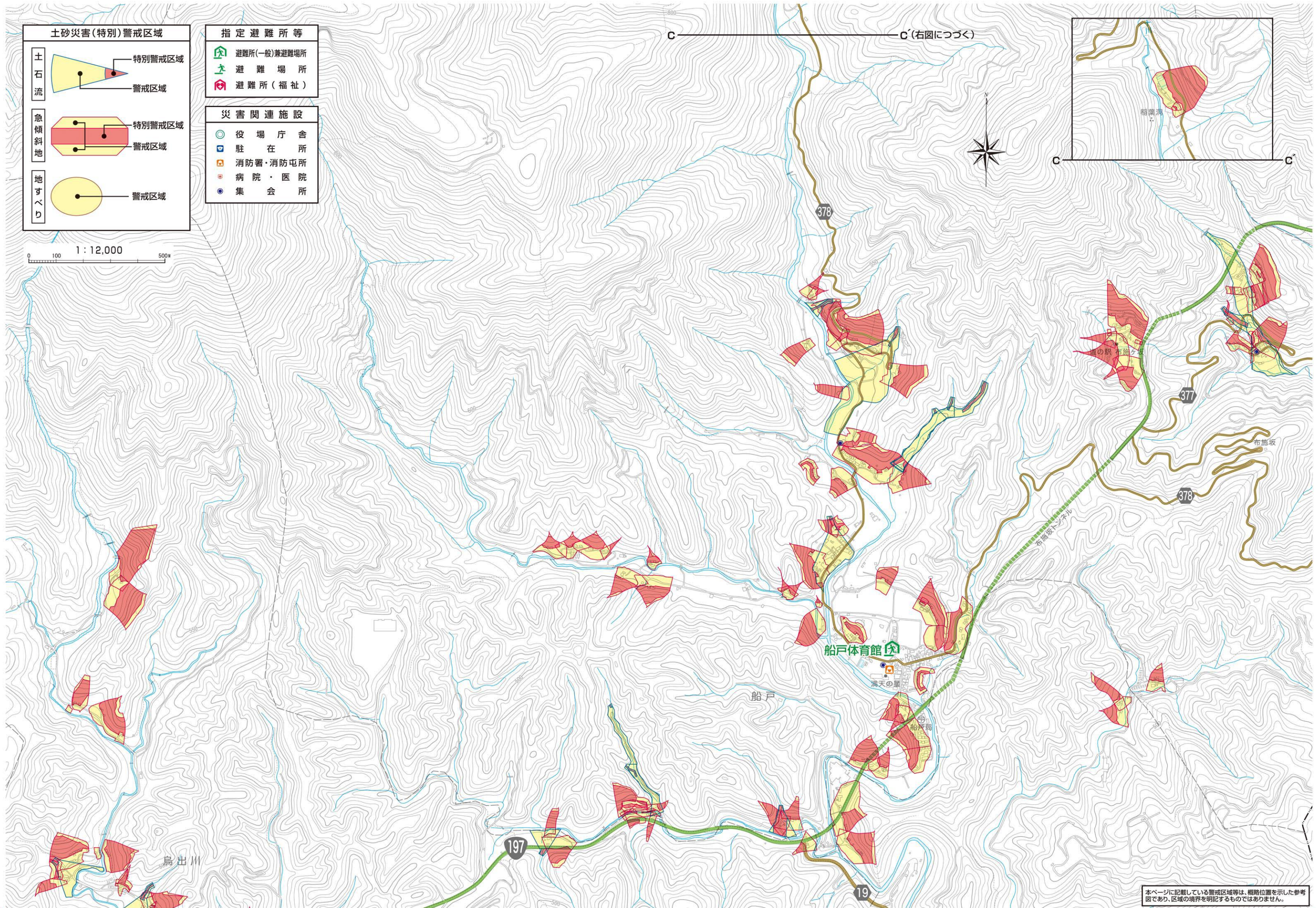


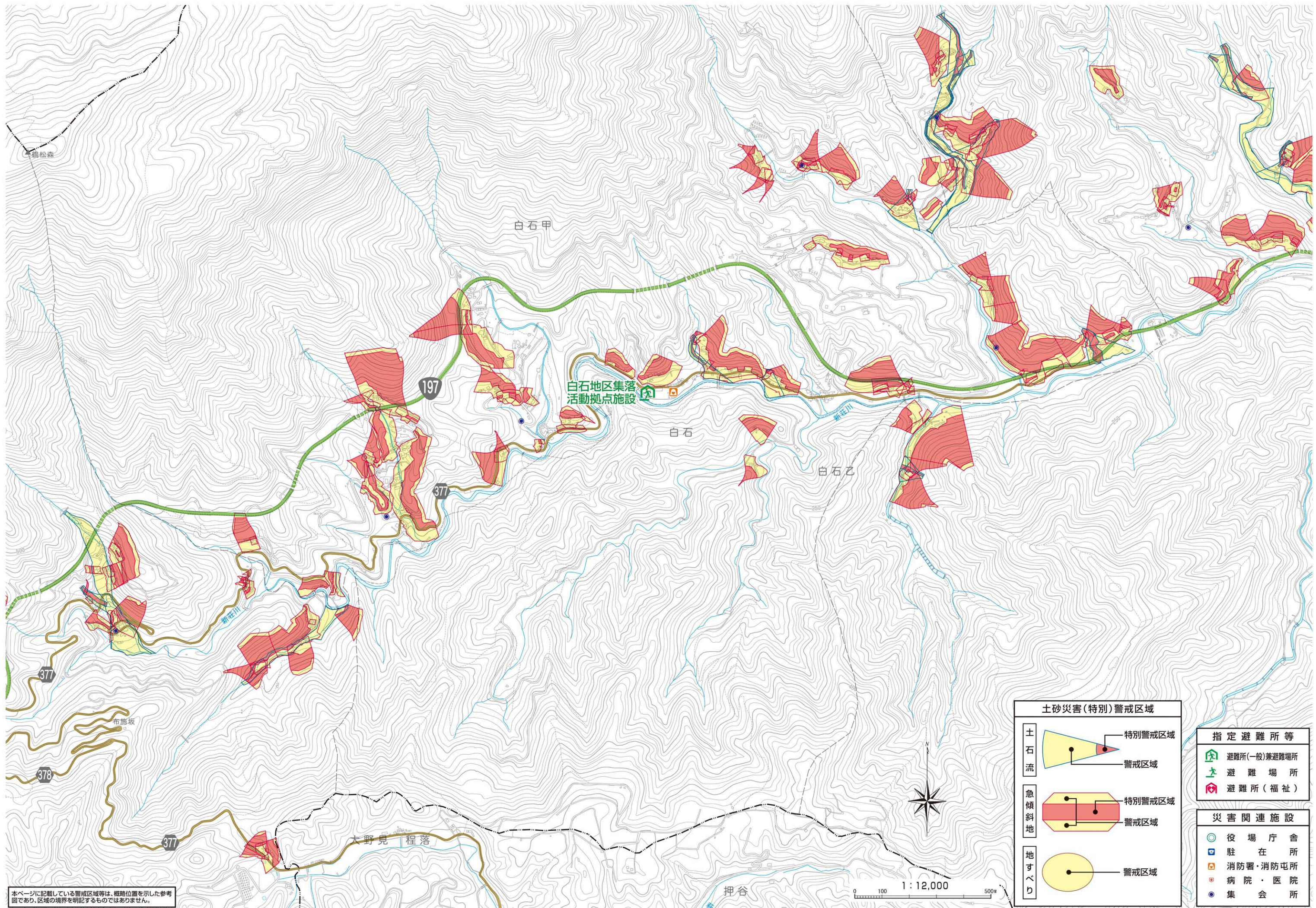
指定避難所等

- 避難所(一般)兼避難場所
- 避難場所
- 避難所(福祉)

災害関連施設

- 役場庁舎
- 駐在所
- 消防署・消防屯所
- 病院・医院
- 集会所



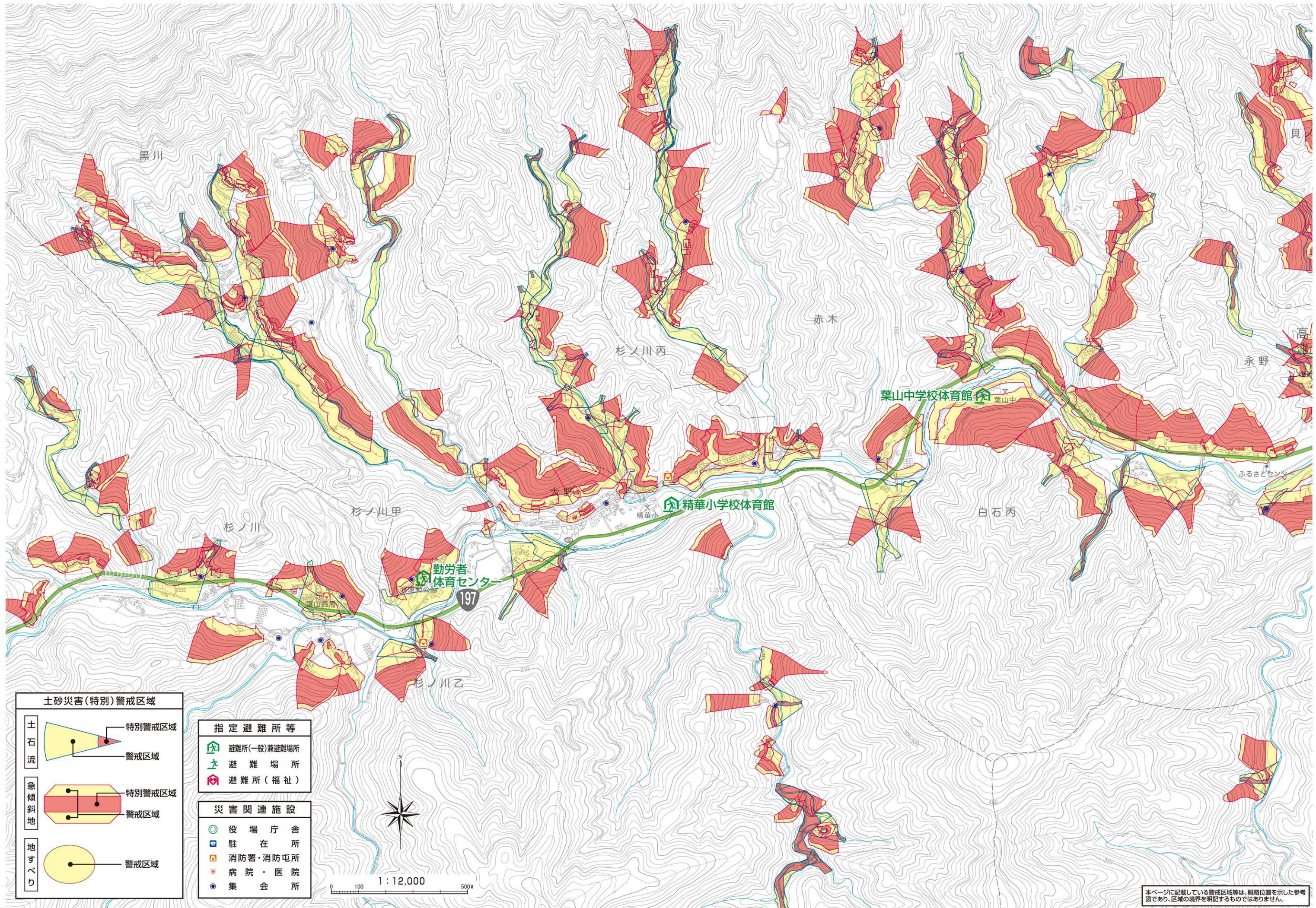


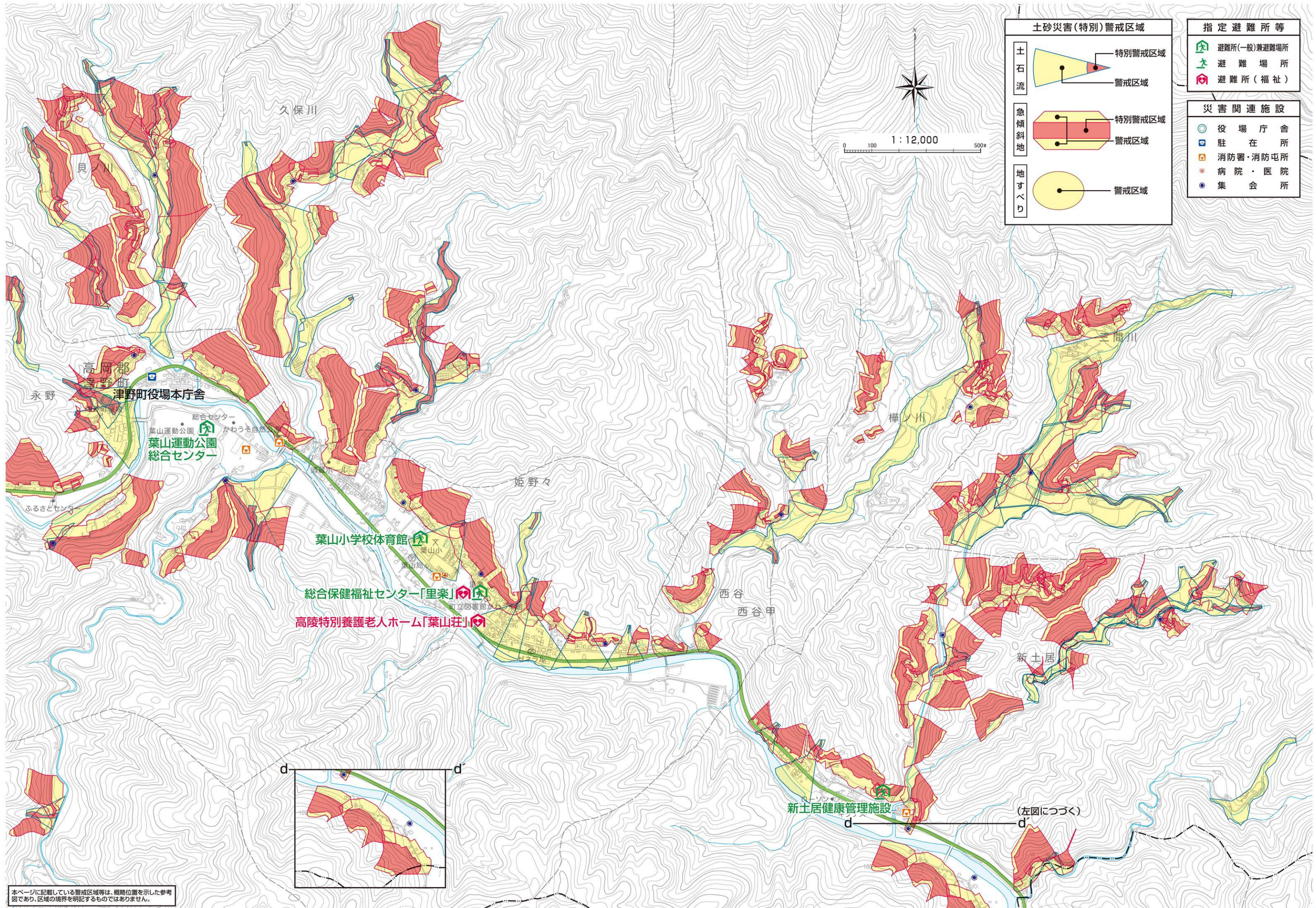
本ページに記載している警戒区域等は、概略位置を示した参考図であり、区域の境界を明記するものではありません。

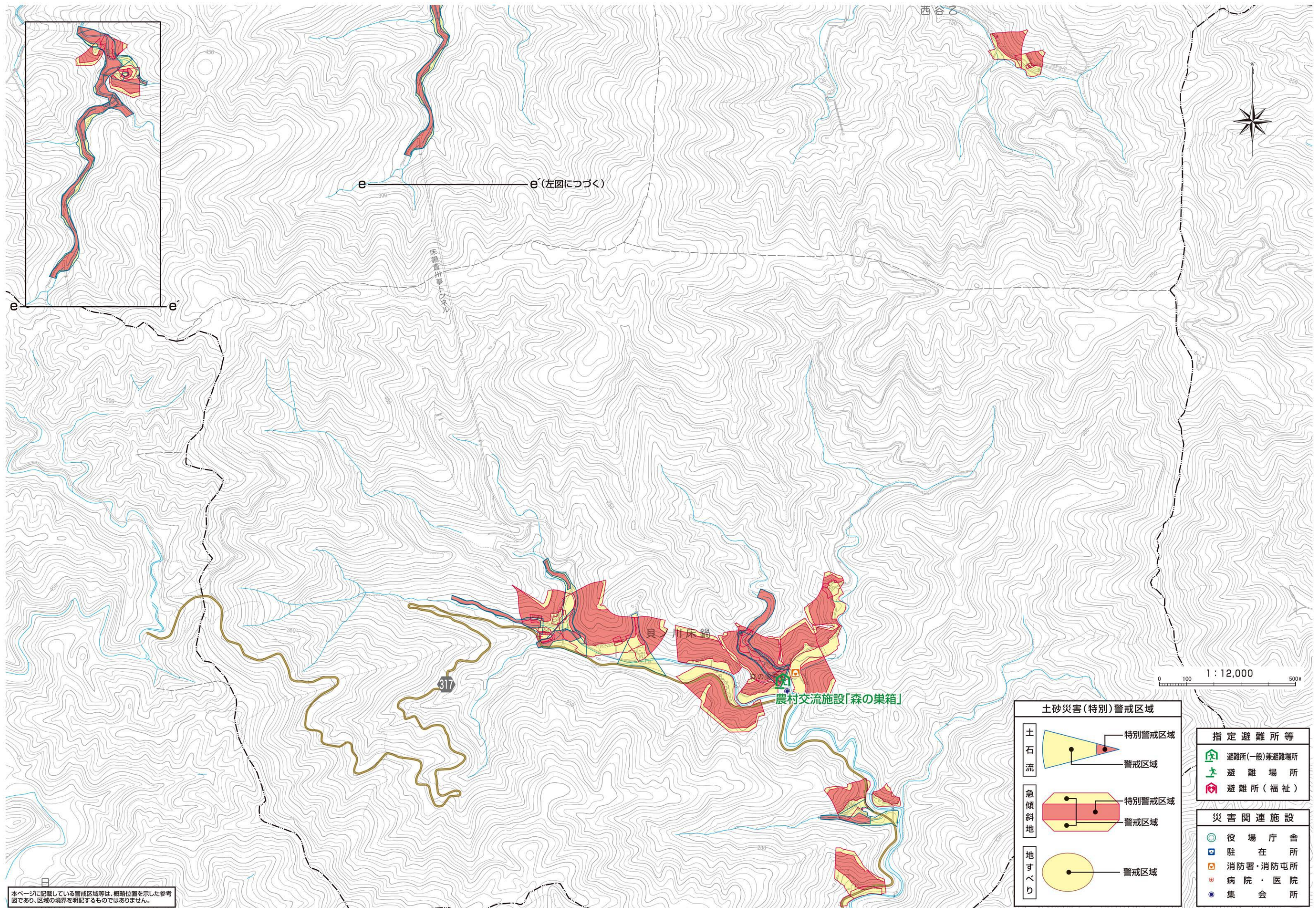
土砂災害(特別)警戒区域	
土石流	
急傾斜地	
地すべり	

指定避難所等	
	避難所(一般)兼避難場所
	避難場所
	避難所(福祉)

災害関連施設	
	役場庁舎
	駐在所
	消防署・消防屯所
	病院・医院
	集会所







土砂災害(特別)警戒区域	
土石流	
急傾斜地	
地すべり	

指定避難所等	
	避難所(一般)兼避難場所
	避難場所
	避難所(福祉)

災害関連施設	
	役場庁舎
	駐在所
	消防署・消防屯所
	病院・医院
	集会所